

私たちも生き物も ともに住み続けられる街づくり



絶めつが危ぐされるメダカ

メダカ（ミナミメダカ）は身近な環境に生息している生き物ですが、現在では絶めつが危ぐされています。なぜでしょうか。

絶めつの原因は、都市開発による河川工事によりメダカに適した生息地が失われてしまったこと、外来種の生き物によりほ食されてしまったことなどがあげられます。

また、観賞用に流通しているヒメダカなどが放流されたことによって、在来のメダカと交雑が進み、純すいな在来のメダカが減少している地域もあります。



在来のメダカ
ミナミメダカ（写真提供：環境省）



観賞用のメダカ
ヒメダカ

○在来のメダカの絶めつを防ぐために、私たちにできることは何だろう。

外来のタンポポと在来のタンポポ

身近な花のタンポポですが、タンポポにも外来と在来があり、外来のタンポポは増加し、在来のタンポポは減少しています。なぜでしょうか。その主な原因は「都市化」です。

外来のタンポポはコンクリートやビルが建つ場所でも生育することができましたが、在来のタンポポはそのような場所で生育することができませんでした。その結果、外来のタンポポは増え、在来のタンポポは減っていったのです。最近では、外来と在来の雑種が増えているという調査結果もあります。



在来のタンポポ（カントウタンポポ）（町田市）



外来のタンポポ（セイヨウタンポ）

環境に影響をおよぼす特定外来生物

外来種の中でも、特に他の生き物や環境への影響が大きい生物を「特定外来生物」と指定しています。法律で飼育や輸入が禁止されています。

○メダカによく似たカダヤシ

メダカによく似ているカダヤシは、「蚊絶やし」が名前のもとになっています。蚊の幼虫であるボウフラをよく食べるため、蚊のく徐目的で日本に持ちこまれました。

しかし、他の生き物への影響が大きく、今では特定外来生物に指定されています。



カダヤシ（写真提供：環境省）

○その他の特定外来生物（一部）



ナガエツルノゲイトウ 左写真：戸田光彦 / (一財) 自然環境研究センター
オオキンケイギク 右写真4点：環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html)
ボタンウキクサ
アライグマ
カミツキガメ

○特定外来生物は、他の生き物や環境にどんな影響をあたえているだろう。

☆もっと調べてみよう☆

○国立環境研究所「侵入生物データベース」 <ここをクリック

○環境省のホームページ「日本の外来種対策」 <ここをクリック

○東京都環境局のホームページ

「気をつけて！危険な外来生物（こども学習サイト）」 <ここをクリック



◇考えてみよう

- 特定外来生物によるひ害を防ぐための取組について考えてみよう。
- 持続可能な街づくりのために、できることや守らなくてはならないことを考えて発表しよう。

